

BUSINESS REPORT

第 35 期
事業報告書

平成15年2月21日

平成16年2月20日

証券銘柄コード 8217



南近畿を中心にドミナント戦略をすすめる食品スーパー オンリーワン企業であり続け、 地域社会に貢献、成長してまいります。

トレーサビリティ生産者紹介システム



オーカードプラス



バナナ王国



トマト畑

南近畿を中心に125店舗を展開

平成16年2月20日現在



日用品PB



食品PB

オーグルメ



手づくりおにぎり



▲和歌山食品工場



▲本社



▲泉佐野流通センター



▲和歌山物流センター

食品工場・加工センターは6ヶ所 物流センターは4ヶ所で展開

●ごあいさつ●

近畿で最も競争力の強い スーパーリージョナルチェーンを目指していきます。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社を取り巻く環境は、景気が緩やかな回復基調にあるものの、その浮揚力は力強さに欠け、デフレからの脱出はまだ先送りとなることが予測され、個人消費は厳しい所得・雇用環境などから明るい展望は期待できず、業界を取り巻く環境は依然厳しい状況が続くものと思われまます。

また、昨今においては、「食」の安全性への関心が高まり、食材供給サイドへの一段と厳しいチェック体制が要求されております。

このような状況のなかで、当社グループは「わが社の改革は、従業員一人一人の意識の変革から。私が築こう、お客様の信頼とオークワの未来。」をスローガンに掲げ、従業員一人一人が主体的にそれぞれの仕事の中で改善と提案に取り組み、売れる商品・こだわり商品の開発、パートナーの戦力化と社員実践教育、GOT(グラフィック・オーダー・ターミナル)システムの活用による発注精度の向上と作業効率の改善、顧客マネジメントの実践などに努めるとともに、24時間営業店舗の拡大をはかり、さらなるお客様からの信頼とご支持を得られる企業となるよう、鋭意努力し、近畿で最も競争力の強いスーパーリージョナルチェーンを目指してまいります。

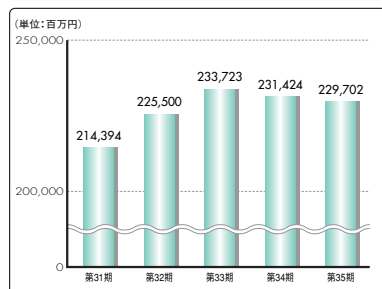
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 大桑 啓嗣

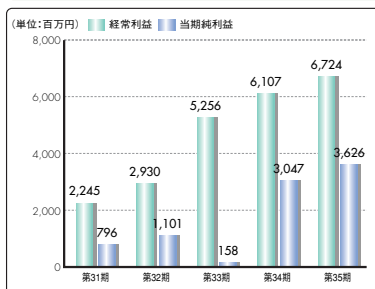
●連結業績の推移

営業収益

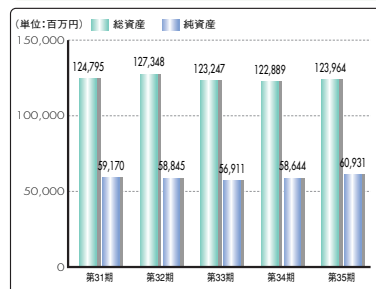


第34期中間期(平成14年8月)より、子会社であった(株)オーマートは(株)オージョイフルとして発足、連結対象から外れております。

経常利益/当期純利益



総資産/純資産





ドミナンスの新陳代謝をはかっていくことで、競争力の向上を図ってまいります。

Q
1

オークワの特色についてお伺いします。

当社の店舗は、和歌山県を中心に奈良県・三重県・大阪府と1府3県に125店舗(平成16年2月20日現在)を展開しており、かつ店舗業態としては、ショッピングセンター業態・大型食品スーパー業態・食品スーパー業態の3業態を手掛けております。当社は元々食品を得意分野として、業容拡大してきたのですが、近年競合環境がますます厳しくなるなかで、またお客様のニーズ多様化に合わせて、大型食品スーパーへと経営資源を集中させてきております。

また、当社の出店は「ドミナント展開」という地域での集中出店を行うわけですが、絶えず店舗のスクラップ&ビルド、店舗改装を行うことで、ドミナンスの新陳代謝をはかっており、その結果、店舗年齢は5.1歳(平成16年2月20日現在)と若さを維持できております。また、平均約1時間で各店に配送できる物流網を効率的に活かした経営をすすめる一方、自社製造商品の販売、他社にはない品揃え商品の提供で、独自性と地域での力カテゴリーナンバー1を目指し商品提供しております。こうした特色をもって、お客様のご期待に応える店づくりをすすめております。



岩出西店

Q
2

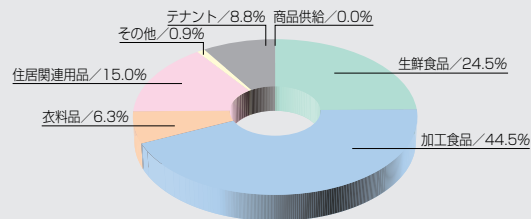
業績的には、いかがですか？

当社の連結の営業収益は2,297億円(前年比99.3%)、単体では2,198億円(前年比101.7%)という結果となっております。連結の営業収益が減収となっているのは、それまで連結対象子会社であった(株)オーマートが平成14年8月に持分法適用関連会社となり、連結対象から外れたためであります。また、連結の経常利益67億24百万円(前年比110.1%)、単体の68億97百万円(前年比114.5%)は、ともに4期連続の2桁増益となっております。また、当期純利益については、連結では36億26百万円と当社史上2

番目の高い利益、単体では41億4百万円と当社史上最高益を記録しました。つきましては、当期より2円増配し、年間22円配当とさせていただきますこととしました。

また、単体の売上内訳では、食品構成比が69.0%と高まっており、当社が得意とする食品への特化を進めている結果が数字に表れております。

●商品別売上構成比



Q
3

それでは、競争力強化に向けた施策を少し、具体的にお話頂けますでしょうか？

当社は1府3県のドミナントエリアに自社工場・加工センター6ヶ所、物流センター4ヶ所を展開していますが、そのなかで、商品在庫をもった泉佐野流通センターが昨年11月にスタートしています。これはお客様にはより安価にそしてタイムリーに商品提供するための仕組みで、さらなる効率良い配送を実現させることとなります。

また、本社ビルを建替えたことにより、ITネットワークのインフラ整備も完了し、情報化社会への対応をいち早く行っております。さらに、発注システムにおいては、前期よりGOT(グラフック・オーダー・ターミナル)システムを導入することで、お店での品切れ防止及び正確な発注をすることでの新鮮な商品提供など、より一層お客様のニーズに応えられるよう努力しています。

また、当社では、安心・安全・おいしさを低価格でご提供するべく、自社工場で製造したSB(ストアブランド)商品、ニチリウとの共同開発商品である「くらしモア」といったPB(プライベートブランド)商品をはじめとした、独自性があり良品質で値ごろ感のある商品提

供、また、こだわり商品をはじめ他社にはない品揃えで、当社独自の特色を打ち出しております。また、サービス面では、お客様の利便性を考えた24時間営業などの施策を展開し、オークワのファンづくりを推進しております。



奈良食品工場



食品工場焼そば製造ライン



4

「今、お話のあったお客様の利便性を高めるサービスについて、もう少し詳しくお聞かせ頂けますか？」

当社は元々小型食品スーパーを主力としていた時に、閉店時間を夜11時とするなど、お客様の利便性を追求して参りました。それが大規模小売店舗立地法施行に伴う営業時間規制緩和により、お客様への最大のサービスとして、時間を気にせず買物ができる24時間営業に取組みはじめました。そして現在では大型食品スーパーを中心に33店舗（平成16年2月20日現在）実施し、ご好評頂いており、今期はさらに60店舗まで拡大すべく計画しております。また、オーカ



●24時間営業

●オーカードプラス



ードの多機能化も図っております。現在オーカードは約169万人のお客様にご愛用頂いておりますが、さらにクレジット・キャッシング機能が加わったオーカードプラスは、食品レジでのサイン不要の買い物など、さらなる利便性を実現しています



5

「最後になりますが、企業市民として、地域密着型企业として、環境・社会貢献活動への取り組みをお聞かせください。」

当社は、地域に密着し、地域の皆様と一緒に行動する企業として、社会への貢献、環境への配慮に対して積極的な活動を行っております。特に事業運営上における環境貢献活動としては、牛乳パックの回収リサイクル収益金は、ドミナントエリアの各府県の「環境保全基金」に寄付していますが、そんな当社の環境活動が評価され、平成13年には大阪府より感謝状を頂きました。

また、当社創業者大桑勇が地域社会の発展に寄与することを目的に設立した「大桑教育文化振興財団」は、毎年3500万円を教育文化振興目的で、奨学金・援助金・寄付金の形で社会に還元しています。また、当社はオークワ災害緊急備蓄センターとして、和歌山県下で災害が発生した際、オークワ各店および物流センターで取り扱っている食料品、衣料品、日用品、雑貨、医薬品などを救援物資として、無償提供させて頂くことになっており、お世話になった地域の皆様への恩返しに、持続的な社会貢献活動を重視致しております。

●大桑教育文化振興財団



●資源有効活用



●低公害CNG(天然ガス)配送車の導入



情報満載のホームページ

▶ 詳しくは <http://www.okuwa.net/> をご覧ください



営業概況

当期のわが国経済は、一部の業種に業績回復傾向が見られるものの、依然として雇用情勢は厳しく、長期化したデフレに加え、天候不順や家畜への新型病原菌感染問題の影響もあり、個人消費の低迷脱却までには至らず、厳しい状況のまま推移いたしました。

流通業界におきましても、依然として客単価の下落傾向が続くなか、大手流通各社の出店ラッシュによる競争激化と重なり厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなかで、当社グループの営業の概況につきましては、次のとおりであります。

スーパーマーケット事業を展開する(株)オーキワは「お客様が感動される価値ある商品開発と新しい顧客サービスの提供により、競合店と格差をつけよう。」をスローガンに掲げ、感動される価値ある商品の開発、24時間営業店舗の拡大、「オーカードプラス」の会員募集促進、在庫型センターの稼働による物流コストの引下げ、新準社員(パートナー)制度導入による人材活性化とレベルアップ、発注システムの改革と作業効率の改善、販売費及び一般管理費削減などに努めてまいりました。

また、当期中には和歌山県下にスーパーマーケット(SSM)の海南幡川店、スーパーマーケット(SM)の川永西店、小倉店、大阪府下にSSMの美原店、奈良県下にSSMの大和郡山筒井店、大和高田店、橿原真菅店、三重県下にSSMの松阪田村店、

伊勢二見店、SMの度会店の10店を新設し、在庫型物流センターとして大阪府南部に泉佐野流通センターを開設いたしました。

また、既存店については、桜井店を改築増床したほか、パームシティ和歌山店、わくわくシティ尾崎店、スカイシティ泉南店、橿原坊城店の改装を実施するとともに、経営の効率化をはかるため、あやめ池店、旧大和郡山筒井店、高田磯野店、旧橿原真菅店、五位堂店の5店を閉鎖いたしました。

一方、連結子会社2社については、次のとおりであります。

書籍等の販売事業、ビデオ・CD・DVDレンタル事業、スポーツクラブ事業、映画興行などを展開する(株)オー・エンターテインメントは、当期中に3店を新設、不採算の4店を閉鎖し、営業面においては、ロスの改善等に努めました。

外食事業を中心に展開する(株)オーキワフーズは、当期中に不採算店10店を閉鎖するなど大胆なリストラを実施いたしました。

なお、前期ではホームセンターの(株)オーマートが上半期まで連結子会社でありましたが、当期では期首より除外されております。

これらの結果、当期の当社グループの営業収益(売上高及び営業収入)は2,297億2百万円(前年比0.7%減)、経常利益は67億24百万円(前年比10.1%増)、当期純利益は36億26百万円(前年比19.0%増)となりました。

新規店舗



▲松阪田村店



▲川永西店



▲大和郡山筒井店



▲伊勢二見店



▲海南幡川店



▲大和高田店



▲橿原真菅店



▲美原店



▲度会店



▲小倉店

連結財務諸表

連結貸借対照表

	第35期 平成16年2月20日現在	第34期 平成15年2月20日現在	第33期 平成14年2月20日現在
(単位：百万円)			
流動資産	18,200	19,443	21,853
現金及び預金	5,498	7,691	8,633
受取手形及び売掛金	554	340	334
有価証券	149	149	302
たな卸資産	9,857	9,249	10,511
繰延税金資産	904	726	848
その他	1,236	1,288	1,224
貸倒引当金	△ 1	△ 2	△ 1
固定資産	105,764	103,445	101,393
有形固定資産	74,996	72,585	75,210
建物及び構築物	43,365	43,381	46,452
機械装置及び運搬具	504	595	691
器具及び備品	2,148	1,635	1,729
土地	28,830	25,546	24,837
建設仮勘定	146	1,427	1,499
無形固定資産	4,897	4,013	4,295
投資その他の資産	25,870	26,846	21,887
投資有価証券	4,335	3,920	1,754
長期貸付金	9	6	—
差入保証金	19,113	19,900	16,744
繰延税金資産	164	791	627
その他	2,382	2,362	2,767
貸倒引当金	△ 135	△ 134	△ 6
資産合計	123,964	122,889	123,247

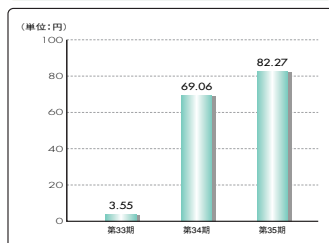
	第35期 平成16年2月20日現在	第34期 平成15年2月20日現在	第33期 平成14年2月20日現在
(単位：百万円)			
流動負債	43,575	43,111	47,189
支払手形及び買掛金	10,409	9,896	10,229
短期借入金	16,690	17,170	20,210
一年以内返済予定長期借入金	3,867	4,264	4,897
未払法人税等	1,475	1,535	1,386
未払消費税等	258	464	784
その他	10,875	9,780	9,682
固定負債	19,456	21,132	19,146
長期借入金	9,837	9,993	8,690
繰延税金負債	—	0	1
退職給付引当金	1,086	3,645	3,383
役員退職慰労引当金	239	270	283
債務保証損失引当金	200	—	—
預り保証金	7,225	7,222	6,787
長期未払金	868	—	—
負債合計	63,032	64,244	66,336
少数株主持分			
少数株主持分	—	—	—
資本金	14,117	14,117	14,117
資本剰余金	14,027	14,027	14,027
利益剰余金	34,667	32,026	29,958
その他有価証券評価差額金	158	4	△ 10
自己株式	△ 2,039	△ 1,530	△ 1,181
資本合計	60,931	58,644	56,911
負債、少数株主持分及び資本合計	123,964	122,889	123,247

連結財務諸表

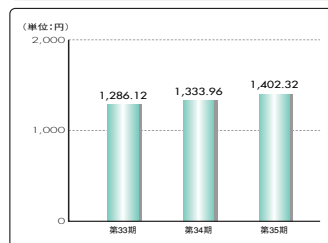
連結損益計算書

	第35期	第34期	第33期
	自平成15年2月21日 至平成16年2月20日	自平成14年2月21日 至平成15年2月20日	自平成13年2月21日 至平成14年2月20日
(単位: 百万円)			
営業収益	229,702	231,424	233,723
売上高	220,142	223,135	225,636
売上原価	160,448	162,324	164,593
売上総利益	59,693	60,810	61,043
営業収入	9,559	8,288	8,087
不動産賃貸収入	2,457	1,910	1,684
その他の営業収入	7,102	6,377	6,402
営業総利益	69,253	69,099	69,130
販売費及び一般管理費	62,322	62,817	63,455
営業利益	6,930	6,281	5,674
営業外収益	545	528	832
受取利息	61	23	20
持分法による投資利益	—	22	—
その他	484	482	812
営業外費用	752	702	1,251
支払利息	488	500	599
持分法による投資損失	70	—	256
その他	193	201	395
経常利益	6,724	6,107	5,256
特別利益	1,647	224	79
特別損失	1,687	787	4,502
税金等調整前当期純利益	6,685	5,544	833
法人税、住民税及び事業税	2,715	2,568	2,216
法人税等調整額	343	△ 71	△ 1,542
少数株主損失	—	—	0
当期純利益	3,626	3,047	158

1株当たり当期純利益(連結)



1株当たり純資産(連結)



要約連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	(単位: 百万円)	第35期
		自平成15年2月21日 至平成16年2月20日
税金等調整前当期純利益		6,685
減価償却費		5,277
その他		880
小計		12,843
法人税等の支払額		△ 2,775
その他		△ 393
営業活動によるキャッシュ・フロー		9,674
固定資産の取得・売却による増減		△ 9,638
その他		288
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 9,350
借入金の借入れ・返済による増減		△ 1,032
その他		△ 1,486
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 2,519
現金及び現金同等物の減少額		△ 2,195
現金及び現金同等物の期首残高		6,922
現金及び現金同等物の期末残高		4,726

連結剰余金計算書

科 目	(単位: 百万円)	第35期
		自平成15年2月21日 至平成16年2月20日
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高		14,027
資本剰余金期末残高		14,027
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高		32,026
利益剰余金増加		3,626
当期純利益		3,626
利益剰余金減少高		985
配当金		879
取締役賞与金		7
自己株式処分差損		97
利益剰余金期末残高		34,667

単体財務諸表

単体貸借対照表(要約)

(単位: 百万円)	第35期 平成16年2月20日現在	第34期 平成15年2月20日現在	第33期 平成14年2月20日現在
流動資産	15,325	17,470	17,548
現金及び預金	4,321	6,812	6,921
商品	8,147	7,439	7,326
その他	2,856	3,218	3,300
固定資産	104,372	101,110	99,501
有形固定資産	73,908	71,119	72,397
建物	39,365	39,070	40,725
土地	28,830	25,546	24,751
その他	5,712	6,502	6,920
無形固定資産	4,817	3,905	3,906
投資その他の資産	25,646	26,085	23,197
投資有価証券	4,429	3,746	3,782
差入保証金	18,668	19,369	15,782
その他	2,548	2,970	3,631
資産合計	119,698	118,581	117,049

(単位: 百万円)	第35期 平成16年2月20日現在	第34期 平成15年2月20日現在	第33期 平成14年2月20日現在
流動負債	40,280	40,184	42,122
買掛金	9,818	9,247	9,127
短期借入金	14,640	15,420	17,160
一年以内返済予定長期借入金	3,828	4,197	4,583
その他	11,993	11,318	11,250
固定負債	19,344	21,095	19,293
長期借入金	9,837	9,967	8,121
預り保証金	7,269	7,383	7,685
その他	2,237	3,744	3,486
負債合計	59,624	61,279	61,415
資本金	14,117	14,117	14,117
資本剰余金	14,027	14,027	14,027
利益剰余金	33,814	30,695	28,690
利益準備金	1,314	1,314	1,314
その他の剰余金	32,499	29,380	27,375
その他有価証券評価差額金	153	△ 7	△ 20
自己株式	△ 2,039	△ 1,530	△ 1,181
資本合計	60,073	57,301	55,634
負債及び資本合計	119,698	118,581	117,049

単体損益計算書(要約)

(単位: 百万円)	第35期 自平成15年2月21日 至平成16年2月20日	第34期 自平成14年2月21日 至平成15年2月20日	第33期 自平成13年2月21日 至平成14年2月20日
営業収益	219,814	216,134	213,338
売上高	213,000	210,240	207,640
売上原価	156,865	154,673	153,414
売上総利益	56,135	55,566	54,226
営業収入	6,813	5,893	5,698
営業総利益	62,949	61,460	59,924
販売費及び一般管理費	56,281	55,285	54,727
営業利益	6,667	6,175	5,196
営業外収益	875	488	850
営業外費用	645	642	916
経常利益	6,897	6,021	5,130
特別利益	1,646	224	79
特別損失	1,603	1,008	4,393
税引前当期純利益	6,940	5,238	815
法人税・住民税及び事業税	2,630	2,507	2,051
法人税等調整額	205	△ 158	△ 1,565
当期純利益	4,104	2,888	329
前期繰越利益	5,941	3,946	4,499
自己株式処分差損	97	—	—
中間配当額	439	442	444
当期末処分利益	9,508	6,392	4,384

利益処分

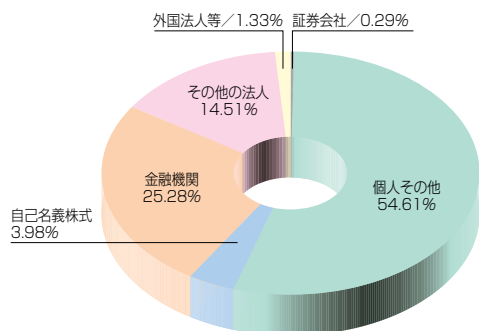
科目	(単位: 百万円)	第35期
当期末処分利益		9,508
特別償却準備金取崩額		16
合計		9,525
これを次のとおり処分いたします。		
利益配当金		521
(1株につき12円)		
取締役賞与金		18
圧縮記帳積立金		18
別途積立金		7,000
次期繰越利益		1,967

(注) 1. 特別償却準備金の取崩しおよび圧縮記帳積立金の積立は、租税特別措置法の規定に基づくものであります。
2. 平成15年11月10日に439百万円(1株につき10円)の中間配当を実施いたしました。

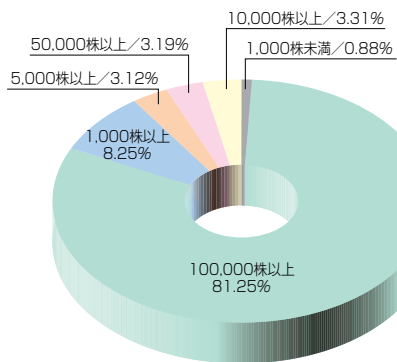
株式の状況 (平成16年2月20日現在)

会社が発行する株式の総数159,605,000株
 発行済株式の総数45,237,297株
 株主数3,886名

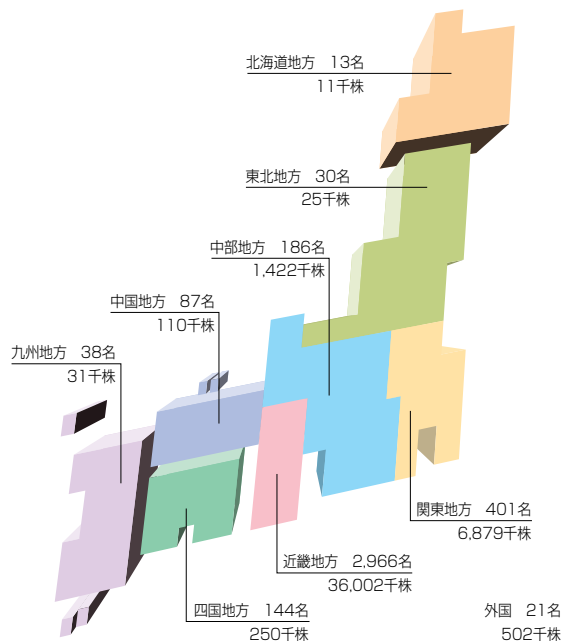
所有者別分布状況



所有株数別分布状況



株式の地域別分布状況



大株主

株主名	所有株式数	所有比率
大桑瑠嗣	4,470千株	9.88%
大桑啓嗣	3,589千株	7.93%
大桑俊男	3,566千株	7.88%
大桑祥嗣	3,537千株	7.82%
住友信託銀行株式会社	1,896千株	4.19%
財団法人 大桑教育文化振興財団	1,520千株	3.36%
オークワ共栄会	1,511千株	3.34%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,337千株	2.96%
浜田さだ彥	980千株	2.17%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	962千株	2.13%

株主優待制度

当社では毎年2月20日末決算の株主名簿に記載のある
1,000株以上の株式を所有されている株主様を対象に株主優待制度を実施しております。

●権利確定日・・・2月20日 ●発送予定・・・5月

ご所有株式数 **1,000株** 以上で



3,000円相当の紀州特産品贈呈します。

参考例：高級紀州梅干 禪の匠〈12粒入〉

ご所有株式数 **5,000株** 以上で



5,000円相当の紀州特産品贈呈します。

参考例：高級紀州梅干 禪の匠〈20粒入〉

店	舗	店舗数	125店(平成16年2月20日現在)
本	社	和歌山市中島185番地の3	
和歌山物流センター		和歌山市大垣内字沢633番地	
関流通センター		三重県鈴鹿郡関町転石1番地の1	
みはま食品工場・流通センター		三重県南牟婁郡御浜町阿田和宇賀松3514	
泉佐野流通センター		大阪府泉佐野市住吉町2番地の4	
和歌山食品工場		和歌山市吐前字吹り1043番地	
奈良食品工場		奈良県大和郡山市池沢町224番地	
和歌山食品センター		和歌山市大垣内字沢621番地の1	
南紀水産加工センター		三重県南牟婁郡紀宝町成川345番地の8	



OKUWA

本社／〒641-8501 和歌山市中島185番地の3 TEL.(073)425-2481(代)



この事業報告書は100%古紙再生紙と植物性大豆インキを使用しています。

※上記店舗以外に
本社・食品工場・食品センター・物流センター